

白五小だより

平成28年 2月22日(月) No.26 白河市立白河第五小学校 発行責任者 嶋 忠夫 TEL 0248-28-2004 / FAX 0248-28-2042

1年間お世話になりました! 感謝の集りを行りました!

2月19日(金)に「感謝の集い」を行いました。毎日子どもたちの登下校の安全を見守っていただいている白坂児童見守隊の皆さん、朝の時間の読み聞かせや本の修理・整理をしていただいている図書館ボランティアの皆さん、わら細工体験教室でお世話になった皆さん、そして1年間何かとお世話になったPTA会長さんを学校にお招きし、子どもたちの感謝の気持ちを伝える会を行いました。

はじめに、1・2年生が体育館でお客さんをお迎えしました。1年生は「大きなかぶ」の英語劇を発表しました。とても上手でたくさんの拍手をいただきました。2年生は、音楽で学習した歌と合奏を披露しました。こちらも2年生らしい上手な発表で、拍手をたくさんいただきました。1年生も2年生も感謝の気持ちを込めた発表ができました。

その後、みんなで昔遊びを楽しみました。こま回しや 竹トンボ、お手玉、あやとり、羽子板などおじいちゃん、 おばあちゃんたちと一緒に楽しみました。こま回しでは、 さすがおじいちゃん、上手に回していて、子どもたちは 尊敬のまなざしでした。

次に、食堂に移動し、子どもたちと一緒に給食を召し上がっていただきました。子どもたちと楽しく会話をしながらの会食でした。子どもたちは、お世話になっている皆さんに感謝の気持ちを伝えようとがんばっていました。

地域の宝である子どもたちを地域で育てていこうというこの白坂の地域のすばらしさを再認識しました。地域の皆さんが願う子どもの姿になるよう、今後も努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

参加いただいた皆さんの感想をご紹介いたします。

1年生から6年生まで仲の良い子どもたちの姿がほほえましかったです。おいしい給食ごちそうさまでした。五小の自慢です。









心のこもったおもてなし、劇や歌、遊び、給食、どれも心に残る時間でした。子どもたちのはつらつ笑顔と会話の時の言葉遣いがやさしく、うれしかったです。

高語っておもしろりは「意言な意か行かれました」

2月16日に、文化庁の「文化芸術による子供の育成事業」として、落語の演芸公演が行われました。1月のワークショップで落語について知り、代表児童が落語と出囃子を体験しました。代表児童は本公演まで練習を重ね、本公演で発表しました。とても上手で、プロの落語家さんもほめていました。とてもよい経験ができました。

落語に挑戦した児童の皆さんを紹介します。芸名もつけて、がんばりました。



白坂亭 孝太郎 さん

(6年



白坂亭 育之助 さん

さん)



白坂亭 樹理庵 さん (4年 さん)

噺家が高座に上がるときの出囃子の太鼓を担当した児童の皆さんを紹介します。

さん) (5年



6年 さん



5年 さん



4年

さん

子どもたちの発表のあと、プロの落語家さんの落語を聞かせていただきました。さすが、プロという感じで思わず話に引き込まれていました。子どもたちも、笑いっぱなしでした。日本の文化芸術のすばらしさを感じながら、とても楽しい一時を過ごすことができました。



春風亭 かん橋 さん



昔昔亭 桃之助 さん



三遊亭 遊之介 さん



鏡味よし乃さんによる太神楽曲芸



最後に、6年生の さんが立派にお 礼の言葉を述べました。 日本の伝統文化にふれ た喜びを素直に表現し ていました。とてもすば らしかったです。